

1歳6ヵ月児の言語修得と母子相互作用

島山富而、中山孝之(総合花巻病院小児)

1. 研究目的.

言語能力については、個体発生の過程で生得的にプログラミングされており作動様式が準備され行動化されていると推察され、感受期に適切な触発刺激と反応レパートリ(模倣など)が母子相互作用として行われている。

本研究においては、主養育者、その他の対応状況が言語修得におよぼす影響について生活時間的関連から調査を行った。

2. 研究方法.

1)縦断的研究:岩手県石鳥谷町(都市近郊、半商半農の町)の第1子、28名、男女児各々14名を対象に行った。

その方法と内容は、生後1ヵ月齢より予め用意しておいた調査用紙(表1)を用い、毎月1回、対象児の健康診査を行う前日の生活記録を詳細に記入させ、さらに筆者および保健婦が、その内容を点検した。そして、この記録は、18ヵ月齢まで継続され、さらに各月齢の中間日に、前記生活記録と同様の調査項目が保健婦の協力により加えられた。

一語発話の機能認定については、論議のあるところであるが、模倣言後ではなく有意言語で何回かにわたって一貫した使用が確認されたものとした。その上で、9ヵ月齢頃からは語彙の種類と数の確認を行った。これには、田口恒夫、笹沼澄子著「ことばのテストえほん、一言語障害児の選別検査法」を参考として使用した。

なお、対象児家族に対しては、予め研究の主旨を良く説明し、18ヵ月間におよぶ長期調査に協力を依頼した。また、健康診査会場において、2ヵ月毎に主養育者と児との関係(授乳、遊びなど)を写真に撮り母子相互作用の内容の参考に

した。

2)横断的研究:石鳥谷町と山間の安代町(農業と出稼ぎを主とする)の2町の18ヵ月齢、第1子、前者、男児91名、女児136名、後者、男児93名、女児91名を対象に、その時点における言語修得状況を縦断的研究に用いた調査用紙により同様の調査を行った。なお、この横断的研究の対象者は2町とも4年間の出生児である。

3. 調査結果.

1)縦断的研究

この調査においては、最初、主養育者および他の対応者と児との間の愛着行動、遊びなどの、言葉修得に極めて重大な影響をおよぼす相互のやりとりを客観的に評価する判断項目を、発育レベルに合わせて見い出そうと努力したが、今回までの調査では、適切なものは、あきらめざるをえなかった。

最終的に、各調査項目から重回帰分析により言葉修得におよぼす主養育者および対応者の位置づけを追究しようと考えたが、対象数との関係から Matched Pair Analysis による事態変数の影響にとどまらざるを得なかった。

生活時間調査の中での各項目の集計は語彙数を除き、月1回の平均値として表わした。なお、対象者の両親の学歴は、殆んどが高等学校卒業であった。

(1)主養育者と語彙修得数との関連:図1に示すごとく、平均値は、母親では、男児38、女児44、祖母では、男児29、女児29となっており、単純平均値では、主養育者、母親の方が語彙修得数が多い傾向を示した。しかし、この男女児、各々の平均値を見ても明らかなごとく、後記する横断的研究の調査対象男女児の語彙修得数に比

して極めて多く、この対象群が恵まれた育児環境にあることが推察された。

(2) 栄養法別と語彙修得数との関連:図2に示すごとく、平均値では、母乳栄養児:男児44、女児46、混合栄養児:男児21、女児32、人口栄養児:男児19、女児22であった。

(3) 対応行動例(Matched Pair)について、対入者の時間的項目は、表2のごとく示した。

①主養育者、母親、母乳栄養 男児 No5とNo4の例 図3、語彙数差75:この対応では、語彙数増の要因と考えられるのは、母親がかかわった時間、とくに母親との遊び時間が対照に対して長時間であり、さらに家族みんなとの遊びも長い。一方、語彙数の少ない方は、祖母とのかわり、一人遊び、テレビの時間が突出していた。

②主養育者、母親、母乳栄養 女児 No7とNo10の例 図4、語彙数差71:この対応では、語彙数の多い方は、母親の抱き、語りかけなど母親とのかわり合いの時間が長い。一方、語彙数の少ない方は、母親以外の祖母、祖父などとのかわり合いの時間が長く、その上、ひとり遊び、テレビの時間が突出して長かった。

③主養育者、祖母、男児 No12とNo3の例、栄養法に差があり、前者・人工栄養、後者・母乳栄養、図5、語彙数差67:この対応には、栄養法に差があるため単純な比較はできないが、語彙数の多い方は、母親の母乳栄養への積極的取り組みの中で祖母が主養育者として離乳食、おやつの時間、さらに遊びの時間のかかわり合いが極めて長時間である。一方、語彙数の少ない方は、祖母が主養育者でありながら授乳、離乳食およびおやつの時間、遊びの時間が少なく、むしろ曾祖母との時間が多く、一人遊びも長時間である。

④主養育者、祖母、女児 No11とNo1の例、栄養法に差があり、前者・人工栄養、後者・混合栄養、語彙数差26:図6、この対応では、語彙数の多い方は、母親との遊び、家族全体との遊びの各々の時間が長く、語彙数の少ない方は、

母親、祖母の抱き話しかけが比較的多い状況が示されたが、一人遊びもまた極めて顕著に長時間である。

その他、全体的に語彙数修得の少ない男女児に、“指しゃぶり”“布切れに対する愛着”など、いわゆる“くせ”を示すものが多く、また、主養育者、祖母の例に多い傾向が認められた。

2)横断的研究

(1) 重回帰分析の結果を安代町、男児例で見ると、表3に示すごとく寄与率0.385と低いが、語彙数修得に影響を及ぼす要因として、1位、共働き、2位、遊びの内容、3位、主養育者であり、いずれも母親を中心とした項目が重要であることを示していた。これを個々のプラス要因で見ると、1位、人および動物などの絵本を読んであげる。2位、人形、ぬいぐるみなどの遊び、3位、主養育者であり、マイナス要因としては、1位、一人遊び(水遊び)、2位、くせ(指しゃぶり、布切れに対する愛着行動など)などが示された。この傾向は、安代町女児、石鳥谷町男女児についても同様の結果であった。

(2) 石鳥谷町と安代町の語彙数修得には(表4)地域差が認められ、安代町、男女児、各々9.3、12.5、石鳥谷町、各々12.1、14.6であった。

(3) 修得語彙数と遊び相手と時間(主なるもの)、表5に示すごとくであるが、多少、調査に厳密を欠くところがあった。とくに安代町では、生活時間に母親と祖母(曾祖母)、他の家族との時間的かわり合いが明白でない部分があった。(参考資料)

3)縦断的調査を行った対象児のNo7の言語修得状況(表6)、主養育者を含めての生活環境と語彙数修得の内容については、今後検討してゆきたい。

4. まとめ

縦断的調査、横断的調査から言語修得に影響をおよぼす要因を明らかにしようと考え、とくに主養育者と児の相互作用の断面からでも計量化しようとしてみたが、方法に無理があり相互作用

用を時間的に纏める結果となった。1歳6ヶ月時点までの言語修得には、主養育者の児との相互作用が極めて重要であり、当然のことながら母親の適切な育児の重要性が推察された。また、家族全体が児を中心に育児に関与していることが言語修得に有意であった。しかし、一人遊び、テレビを見る時間の長いもの、主養育者のかかり合いの少ない場合などは言語修得に負因子

となることも明らかとなった。

母子相互作用の言語修得におよぼす影響については、一層の緻密な研究が必要である。(重回帰分析については、岩手医科大学歯学部口腔内衛生学講座、飯島洋一助教授の御援助を賜わった。なお、この調査に御協力をいただいた対象児の家族の皆様にも心から感謝申し上げます。)

表1 1歳6ヶ月児言語習得調査用紙

名前 _____ 共働き _____ はい _____ いいえ _____

・主養育者：母、 祖母(曾祖母) その他 _____

・母親の職業：あり(_____)なし、 内職(内容 _____) 農業 _____
 出勤時間 _____ 帰宅時間 _____ (内職時間 _____)

・父親の職業：(_____)
 出勤時間 _____ 帰宅時間 _____

・子どもの1日の生活時間、とくに遊びの詳細な記入、遊び相手を明記。
 (起きる時間、朝食、家の中、外での遊び、テレビ、オヤツ、昼食、ひるね、夕食、
 就寝など、30分間隔程度で記入する。)

午前 5:00	6:00	7:00	8:00	午前 9:00
午前 9:00	10:00	11:00	正午 12:00	
正午	1:00	2:00	午後 3:00	
午後 3:00	4:00	5:00	午後 6:00	
午後 6:00	7:00	8:00	午後 9:00	

有意単語のすべてを記入する。(反響言語は記入しない)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

・一人遊びの際の好きなオモチャ、人形、縫ぐるみ、動物、ブロック遊び、電話遊び、
 自動車(種類 _____)、水遊び _____

・特別なくせ：指しゃぶり、 タオルを持って寝る、 その他(_____)

・哺乳ビン使用： あり、 なし

図1 主養育者と語彙数分布

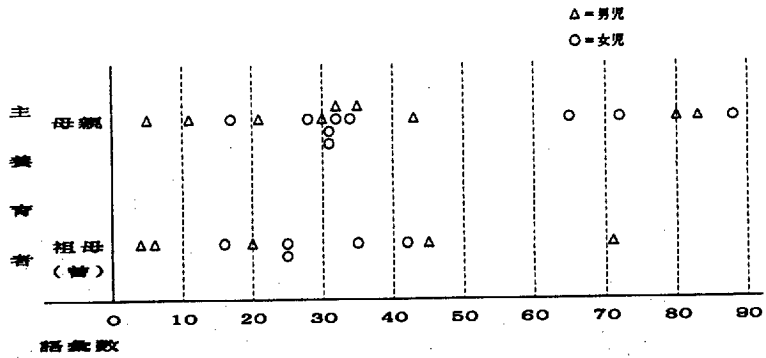


図2 栄養法と語彙数分布

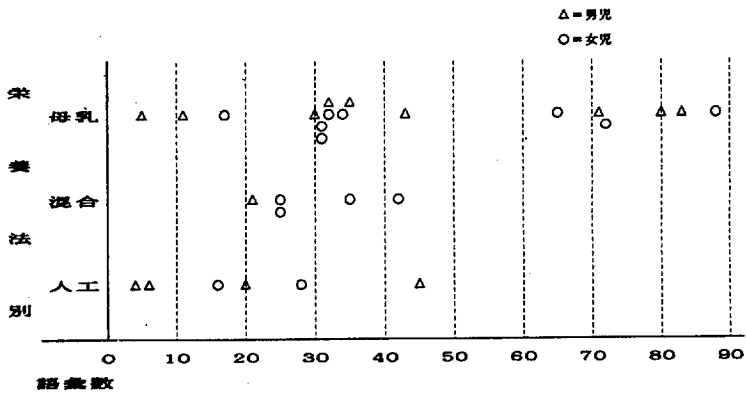


表2

No.	内 容	
1	抱いてやる・話しかける時間 (母親)	生 活 時 間 に つ い て
2	" " (母親以外)	
3	授乳・離乳食・おやつなど時間 (母親)	
4	" " " (祖母)	
5	" " " (それ以外)	
6	遊んでくれた人との時間 (母親)	
7	" (祖母)	
8	" (祖父)	
9	" (曾祖母)	
10	" (その他家族)	
11	" (父)	
12	母親が関連した時間の合計	
13	母親以外が関連した時間の合計	
14	ひとり遊びの時間	
15	テレビの時間	
16	おもちゃの数	
17	くせの有無	

男児 主養育者 母親
 No. 5 --- 母乳栄養 新産数 15 歳75
 No. 4 --- 母乳栄養 新産数 20

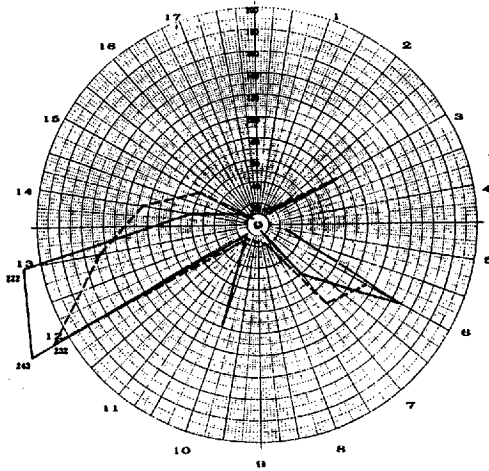


図 3

女児 主養育者 母親
 No. 7 --- 母乳栄養 新産数 17 歳71
 No. 10 --- 母乳栄養 新産数 22

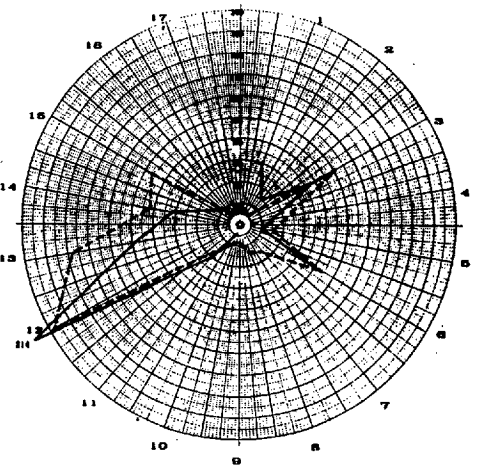


図 4

男児 主養育者 祖母
 No. 12 --- 人工栄養 新産数 4 歳67
 No. 11 --- 母乳栄養 新産数 71 歳67

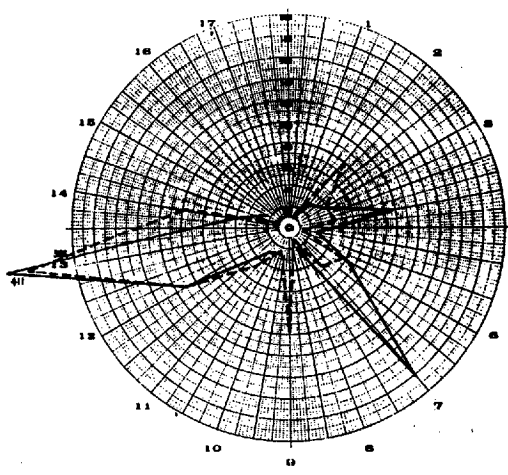


図 5

女児 主養育者 祖母
 No. 13 --- 人工栄養 新産数 16 歳66
 No. 1 --- 混合栄養 新産数 42 歳66

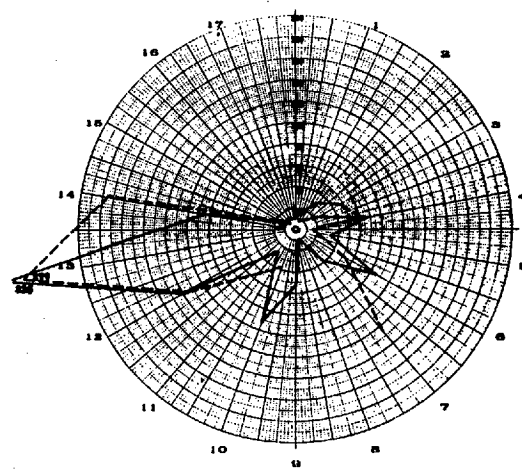


図 6

表3 Contribution Ratio 0.3849

安代町 (男)

1. 見 育	1.000																		
相 2. 受 資 法	-0.056	1.000																	
関 3. 共 働 き	0.118	-0.139	1.000																
行 4. 主 養 育 者	-0.048	-0.069	-0.189	1.000															
列 5. 母 の 職 業	-0.189	0.149	-0.892	0.234	1.000														
6. 人形・ぬいぐるみ	-0.398	-0.021	-0.023	0.019	-0.028	1.000													
7. 自動車・ブロック	-0.065	-0.107	-0.248	0.107	0.226	-0.087	1.000												
8. 水 遊 び	-0.200	-0.039	-0.022	0.116	0.030	0.211	0.245	1.000											
9. 絵本(人・動物・果物)	-0.119	0.083	-0.042	0.175	-0.008	0.120	0.127	0.400	1.000										
10. 外 遊 び	-0.075	-0.041	-0.046	-0.195	0.032	-0.157	-0.156	-0.327	-0.382	1.000									
11. く せ	-0.078	0.114	-0.011	-0.200	-0.065	-0.211	-0.061	-0.278	-0.255	0.145	1.000								
12. 哺 乳 ビ ン	-0.049	-0.026	-0.223	0.033	0.200	-0.126	0.196	-0.036	0.215	-0.177	-0.146	1.000							
13. 語 彙 数	-0.002	0.113	-0.034	0.211	-0.065	0.209	0.126	0.253	0.454	-0.055	-0.196	0.156	1.000						

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

互 相 関 行 列

表4 18カ月児 語彙習得数

項 目 調査地域	男 女	調査人員	語 彙 数	
			M	± SD
安 代 町	男	9 3	9. 3	6. 6
	女	9 1	1 2. 5	7. 3
石 鳥 谷 町	男	9 1	1 2. 1	6. 8
	女	1 3 6	1 4. 6	6. 9

表5 語彙数と遊び相手と時間(主なるもの)

町名	語彙数	男 女	調 査 人 員	母 親 (分)		祖 母 (分)		一 人 遊 び (分)		テ レ ビ (分)					
				人 員	M ± SD	人 員	M ± SD	人 員	M ± SD	人 員	M ± SD				
安 代 町	0~5	男	34	27	76.7	32.6	15	126.0	34.4	28	151.1	34.5	33	100.0	35.7
		女	17	17	58.2	29.0	12	130.0	50.0	16	163.1	56.9	16	90.0	29.0
	16以上	男	16	15	208.0	66.6	9	140.0	60.0	8	63.8	10.6	14	45.0	15.6
		女	32	31	151.0	68.6	19	127.9	60.7	22	81.8	43.6	31	53.2	18.5
石 鳥 谷 町	0~5	男	15	12	76.7	35.5	10	126.0	67.5	8	191.3	102.6	13	100.0	39.2
		女	13	10	54.0	46.5	9	96.7	36.1	12	205.0	61.1	12	76.2	23.3
	16以上	男	28	26	190.8	79.5	15	152.0	89.6	20	73.5	33.0	21	54.3	26.2
		女	19	19	213.2	91.6	12	167.5	88.1	6	50.0	15.5	14	42.9	15.4

*20以上

表 6

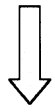
No. 7 男児 言語修得状況①

No.	項目	月 齢											
		9.5	10	10.5	11	11.5	12	12.5	13	13.5	14	14.5	15
1	パ ッ パ (おんぶ)	○											
2	ア イ (物をわたす時)		○										
3	い た		○										
4	ア イ (ハイ)			○									
5	マ ン マ			○									
8	モ ン モ (牛)			○									
7	パ イ パ イ			○									
8	ニ ャ ー				○								
9	ハ イ					○							
10	ワンワン (犬)					○							
11	ニヤンニヤン (ネコ)					○							
12	カ ー (カラス)				○								
13	ゴ ッ コ (ニワトリ)				○								
14	モ ー (牛)				○								
15	イナイイナイパー				○								
16	モ ウ					○							
17	パ ン					○							
18	カ ッ コ						○						
19	チヨウチヨ						○						
20	ベ ン						○						
21	ソ ウ						○						
22	ブ ッ プ						○						
23	い っ た ー						○						
24	め (目)						○						
25	みんみ (耳)						○						
26	にんじん							○					
27	だ い こ ん							○					
28	く ち							○					
29	あ し							○					
30	は し							○					
31	ウ ン チ							○					
32	ば っ ち							○					
33	じーちゃん							○					
34	ばーちゃん							○					
35	も っ と も っ と							○					
36	納 豆							○					
37	も ち							○					
38	く う (食べる)							○					
39	雨							○					
40	あ め							○					
41	井 当							○					

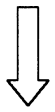
No. 7 男児 言語修得状況②

No.	項目	月 齢											
		9.5	10	10.5	11	11.5	12	12.5	13	13.5	14	14.5	15
42	だ っ こ												○
43	ね ん ね												○
44	パ イ パ イ (牛)												○
45	モ ー モ ー (牛)												○
46	て っ て (手)												○
47	テ コ (おでこ)												○
48	ミ ガ ン (ミカン)												○
49	イ ン ゴ (りんご)												○
50	ゴ ッ グ (飲み物)												○
51	な い な い												○
52	あ っ ち (むこう)												○
53	タ ッ カ (高い)												○
54	カ ッ カ (籠頭り)												○
55	い っ た (行った)												○
56	か あ (母)												○
57	と う (父)												○
58	ばあ (祖母・曾祖母)												○
59	ビ カ (電気)												○
60	で ん (電話)												○
61	メ ガ (メガネ)												○
62	立 っ ち												○
63	あ ち (熱い)												○
64	ま め (豆)												○
65	こ れ												○
66	取 れ												○
67	ねーちゃん (姉)												○
68	にーちゃん (兄)												○
69	ぼ う し (帽子)												○
70	嘘 い												○
71	く さ い												○
72	じ (字)												○
73	く る ぐ る												○
74	ば た ば た												○
75	見 え た												○
76	見 え な い												○
77	見 た い												○
78	ど っ 行 っ た												○
79	あ っ た												○
80	ち よ っ と												○
81	ど っ ち												○
82	こ こ												○
83	こ ん ぎ (電気)												○

以下省略



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1. 研究目的.

言語能力については、個体発生の過程で生得的にプログラミングされており作動様式が準備され行動化されていると推察され、感受期に適切な触発刺激と反応レパートリ(模倣など)が母子相互作用として行われている。本研究においては、主養育者、その他の対応状況が言語修得におよぼす影響について生活時間的関連から調査を行った。